

## 日本人の歯の 平均寿命は55歳～60歳

「日本人の平均寿命は世界一」、でも歯の寿命は55歳～60歳程度ということを知っていますか？80歳で自分の歯は4、5本しか残っていないというのが現状です。ちなみにアメリカでは15.1本、スウェーデンでは15.7本で、日本は欧米諸国に比べて歯の寿命のギャップが大きな問題になってくると考えられます。

人生80年時代を迎えて健康で快適な生活を営むためには何といつても充実した食生活が欠かせません。栄養の面から考えても健康を維持していくためには歯は最低20本程度必要です。自分の歯が20本残っていればほとんどの食べ物をおいしく食べることができます。平成14年度の鹿児島県成人歯科疾患実態調査では歯が20本あるのは55歳まででした。現在80歳で20本の自分の歯を残そうという「8020運動」が展開されています。みなさんも自分の歯で豊かな食生活を送りましょう。



## 国民年金

### 保険料を納めるのが困難なとき 免除の手続きはお済ですか？

自営業などの第1号被保険者で、病気・営業不振・失業などのため、どうしても国民年金保険料を納めることができない方には、申請して承認されると、全額または半額の保険料が免除される制度があります。いずれの場合も、一定の基準があり、前年の所得を審査する必要があるため、毎年手続きが必要です。免除の手続きは、住所地の市町村の国民年金担当窓口でできます。承認されると申請のあった月の前月から最初の6月まで免除を受けることができます。前年度から引き続いて免除を希望される方も新たな手続きが必要ですので、7月から8月末までに忘れずに申請手続きをしましょう！

### なぜ国民年金に加入しないといけないか？

国民年金は、「国民ひとり一人が加入して保険料を納め、社会全体で高齢者の生活を支える」という世代間扶養を基本として成り立っています。国民年金に加入すべき人が加入しないのは、社会的連帯の中で義務を果たしていないことになり、加入するかしないかを個人の意思に委ねることはできません。

また、国民年金の保険料を納めないと、その分、保険料を納めている人の負担が重くなり、まじめに保険料を納めている人に迷惑をかけることになります。親の老後を心配しないで生活できるという意味で、国民年金の未加入者を含めて現役世代全体が、国民年金の間接的な恩恵を受けているということを忘れてはいけません。

これらのことからも分かるように、国民年金の加入は義務づけられているのです。

## 自動車リサイクル法の許可 事務スタート！

使用済み自動車の解体業、破碎業を行うには、自動車リサイクル法に基づき、県知事の許可が必要になります。

許可申請の受付は、7月1日からです。

現在解体等の事業を行っている方で、廃棄物処理法の許可を受けていない方は、9月末日までに申請手続きを行っていただく必要がありますが、廃棄物処理法の許可を受けていた方については、9月末日までに届出をしていただくことで、自動車リサイクル法の許可に移行します。

申請先は、最寄りの保健所です。

### △問い合わせ

県庁環境整備課 ☎ 099-286-2594  
川薩保健所 ☎ 22-3165

問い合わせ 住民課住民年金係  
☎ 59-3111（内線121）

## ドリームつるだ ほたるコンサートを開催



柏原小学校児童による合唱

ほたるコンサートが、5月15日（土）柏原小学校体育館で開催されました。

これは、毎年ドリームつるだ（友清眞齊会長）の主催で開催されており、今回で9回目を迎えます。

会長のあいさつのあと、旭保育園園児による演奏、柏原小、流水小の合唱、コーラスなどありました。特に今回は川薩耕地事務所、加治木耕地事務所、伊集院耕地事務所からも特別出演があり、集まった約350人の来場者はすばらしい演奏に聞き入っていました。

## 鶴田町土地改良区

### ふるさと保全共同活動優良団体で表彰

鶴田町土地改良区が、第36回県土改連通常総会において第17回ふるさと保全共同活動優良団体として表彰されました。

本町土地改良区が、農道、水路等の維持管理について少子高齢化、婦女子化が進む中、ホタル、メダカ等の生息する自然と共生する環境を重視し、住民総参加の草刈や清掃がなされている。

また、それぞれ地域において話し合い共同作業により、目的に向けた成果が上がっていることが評価されました。



表彰を受ける水流克男理事長

## 鶴田中学校野球部 立派な倉庫が完成



完成した倉庫

鶴田中学校野球部育成会（富園昇会長）と鶴田ワイルドボアーズ育成会（鉢迫祥広会長）が、鶴田中学校グラウンド横に立派な倉庫を完成させました。これまで、グラウンド横の小さな倉庫を利用していましたが、道具が多く入らないため野球部員も不自由をしていました。

5月1日（土）に育成会の会員により手作りで建てられ、野球部員たちは早速道具を納め、大変喜んでいました。